

## 職員日記（若き僧侶のつぶやき）



～ 今日が人生で一番若い日 ～

最近、若い職員同士で話していた時のことです。（いや、みんな若いんです。気持ちは・・・）

「30歳過ぎたら人生が早くなった気がする。20歳の頃に戻りたい」と、つぶやく職員がいました。その目線の先には、別院土曜子ども会で流しそうめんを子どもたちと楽しむ学生たちの姿がありました。その光景を眺めながら、学生時代の自分と今の自分を重ねたようです。

すると、最年少の職員がこう言いました。「なにを言うんですか、今日が人生で一番若い日ですよ。だって過去には戻れないじゃないですか」。その言葉に横で聞いていた私も、ふと気づかせていただきました。

今思えば、20歳の頃はどこか中途半端で早く大人の仲間入りをしたい、歳をとりたいと背伸びばかりしていました。自分を大きく見せるために髭を伸ばしてみたり、少し大人びた服を着てみたり、少し年式の古い車に乗ってみたりと。

でも中身がまだまだ子どもで、本当の自分と居場所がわからず日々モヤモヤとしていました。特に僧侶は年を重ねたベテラン感漂う渋さと、あたたかく包み込むような笑顔がイメージされるわけで・・・。「僧侶たるもの早くそういう風格を出したい!」と、今度は僧侶なりの年齢の悩みがでてきました。

なんだか幼き頃に本堂で見た、お勤めする祖父の背中を思い出します。それでも一分一秒、ロウソクのごとく「確実に老いていっている私」がそこにいるわけです。本当の若さや年齢の悩みなんて、実は目には見えなくてわからないものかもしれません。生・老・病・死という、いのちある限り逃れられないこの四苦の苦しみを、若いなりに味わうようになってきた今日この頃です。（老いるだけが苦しみではないんですね・・・）

そんな恥ずかしくも照れくさい、小さな殻の中で暴れている自分を見つめ直し、また今日いただいた「いのち」を精一杯生かさせていただく。そんな幸せに気づかせてくださり、苦悩を抱える私たちを見放すことのない阿弥陀さま。そんな阿弥陀さまの前が本当の私の居場所なのかなと、お念仏に尋ねる、とある初夏の日・・・。

この夏のお盆参りは、「和顔愛語(わけんあいご/相手を思いやる優しい顔と、あたたかい言葉)」と「最高の御礼」を大切にお勤めいたします。

さあ、暑さに負けず頑張るぞ!

## べついん だより 第17号



2023(令和5)年8月発行

京都市山科区東野狐藪町2番地

本願寺山科別院

TEL 075-581-0924 FAX 075-593-8822

### 本願寺山科別院 親鸞聖人御誕生 850年・立教開宗 800年慶讃法要のご報告①

本年は浄土真宗の宗祖親鸞聖人が誕生されて850年、また来年は立教開宗800年にあたる年となります。この記念すべき年にあたり、本願寺では本年の3月から5月に5期30日間にわたり「親鸞聖人御誕生 850年・立教開宗 800年慶讃法要」がお勤めされました。

ここ山科別院においても、この6月18日に慶讃法要が勤まりました。

山科別院は昔から、地元山科の地域の方をはじめ、主に滋賀教区、東海教区（三重県の一部）の寺院や門信徒の方々によって支えられてきました。法要当日も滋賀、東海の方々を中心にたくさんのお参りがあり、かつて蓮如上人のおられた頃の山科本願寺の穏やかな雰囲気、時代を超えて令和の現代に蘇ってくるようでした。

法要を勤めるにあたり、ご尽力いただいた方々、本当にありがとうございました。言葉に尽くせぬこの深い思い、改めて職員一同お礼を申し上げます。



## 本願寺山科別院 親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要のご報告②

さて、法要は午前・午後の2部制ということもあり、実に多くの方がご参拝くださいました。

本法要のお勤めは、「新制 御本典作法 第二種」という、私たち僧侶にとっても初めてで新鮮で、少し難しいお勤めでした。お勤めというのは各々の法要や時々によって形式やお経の内容が違います。

仏教というのはどうしても葬式仏教のイメージが強く、少し暗い雰囲気を感じておられる方も多いようですが、こうして今を生きている喜びを共に参拝する仲間と分かち合い、自分ひとりの力ではなく「生かされている」ことに気づかされていくのも法要をお勤めさせていただく大切な点であります。

この度の法要は、自分のことだけを考えて生きればよいというのではなく、「なにを心の支えとし、日々どのように振る舞えばよいのか」、そのことを私たちにわかりやすく伝えてくださった宗祖親鸞聖人のお導きに感謝しつつ、仏さまのお徳をいただくことのできた有り難い法要となりました。

その他にも、記念布教や一人芝居による公演、コーラス隊による歌唱などもあり、お念仏を喜ばせていただく尊いご縁となりました。目を閉じれば、聖人の喜ぶ顔が浮かんできそうな実にあたたかな一日でありました。



### 永代経法要のご報告

6月28日、「私がみ教えに遇わせていただいた寺院が永代に亘り存続するように、また、後に続く子や孫も同じくみ教えに出遇うことができるように」との願いを形とし、永代経懇志進納者にご参集いただきお勤めいたしました。

自分の背中で次の代に伝えるべきことを伝えることが、念仏に生きる者の尊い勤めとを感じる一日でありました。



## うらぼんえ 盂蘭盆会（お盆法要）のご案内

日時： 8月15日（火） 午後2時

場所： 本堂

内容： お勤め 法話

法話講師： 河村 信 師（滋賀県米原市 上妙寺）



～ 別院墓地墓前読経について ～

8月15日（火） 午前9時から正午までお勤めします。

当日、墓地にて受付いたします。



～ 御影・御絵伝を新調 ～

このたびの慶讃法要をご縁に、本堂右脇壇（向かって左）に本願寺第23代宗主・勝如上人の御影が奉懸されました。

（※これまでは、第21代・明如上人）

また、御絵伝も新しく調製いたしました。

4月14日、中宗会のあと披露式典が執り行われました。

秋の報恩講法要の際は、ぜひ皆さまにご覧いただきたく思います。

心よりお参りをお待ちしています。



### 山科別院仏教婦人会 会員募集

山科別院仏教婦人会は、別院法要時の奉仕をはじめ例会や研修旅行、茶話会などを行っています。別院ご門徒はもちろん、浄土真宗とご縁ある方ならどなたでも入会いただけます。

仏さまの大切な教えにふれながら、楽しいお仲間と一緒に実りある時間を過ごしてみませんか。会員は常時募集しております。

詳細につきましては別院までお問い合わせください。